

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 2 部門第 4 区分

【発行日】平成22年9月9日(2010.9.9)

【公開番号】特開2009-56741(P2009-56741A)

【公開日】平成21年3月19日(2009.3.19)

【年通号数】公開・登録公報2009-011

【出願番号】特願2007-227159(P2007-227159)

【国際特許分類】

B 4 1 J 2/01 (2006.01)

B 4 1 J 29/46 (2006.01)

B 4 1 J 29/40 (2006.01)

B 4 1 J 2/175 (2006.01)

【F I】

B 4 1 J 3/04 1 0 1 Z

B 4 1 J 29/46 C

B 4 1 J 29/40 Z

B 4 1 J 3/04 1 0 2 Z

【手続補正書】

【提出日】平成22年7月28日(2010.7.28)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

複数のノズルからターゲットに流体を吐出可能な吐出手段と、

前記ノズルから前記流体が吐出されたか否かを検査するノズル検査を実行するノズル検査手段と、

自機の設定に関する情報である設定情報の前記ターゲットへの印刷に使用されるノズルを含む、前記複数のノズルのうちの一部のノズルを前記ノズル検査の対象である検査対象ノズルとして設定する検査対象ノズル設定手段と、

前記設定情報を前記ターゲットへ印刷する前に、前記設定された検査対象ノズルのノズル検査が行われるよう前記ノズル検査手段を制御する制御手段と、

を備えた印刷装置。

【請求項 2】

請求項 1 に記載の印刷装置であって、

前記ターゲットに印刷された前記設定情報に含まれる、図形パターンで表される読取情報を読み取る読取手段を備え、

前記検査対象ノズル設定手段は、前記読取情報の前記ターゲットへの印刷に使用されるノズルの全てを含む、前記複数のノズルのうちの一部のノズルを前記検査対象ノズルとして設定する手段である、印刷装置。

【請求項 3】

前記検査対象ノズル設定手段は、視認により認識可能な表示情報と前記読取情報とを含む前記設定情報を前記ターゲットへ印刷する場合には、前記表示情報の前記ターゲットへの印刷に使用されるノズルの全てを前記検査対象ノズルとして設定せず、前記読取情報の前記ターゲットへの印刷に使用されるノズルの全てを前記検査対象ノズルとして設定する手段である、請求項 2 に記載の印刷装置。

**【請求項 4】**

前記設定情報は前記ターゲットとしてのロール紙の残量を示す情報であり、

前記設定情報は前記吐出手段が前記ターゲットの紙面に沿う方向に移動しながら印刷を実行するときの流体の着弾位置を調整するパターンである、請求項 1 ~ 3 のいずれか 1 項に記載の印刷装置。

**【請求項 5】**

前記検査対象ノズル設定手段は、前記複数のノズルのうち直近に使用したノズル列の一部のノズルを前記検査対象ノズルとして設定する手段である、請求項 1 ~ 4 のいずれか 1 項に記載の印刷装置。

**【請求項 6】**

請求項 5 に記載の印刷装置であって、

写真紙用のインクであるフォトブラックインク及び写真紙以外の用紙用のマットブラックインクを個別に収容する収容手段を備え、

前記複数のノズルは前記フォトブラックインクを吐出するフォトブラックノズルと前記マットブラックインクを吐出するマットブラックノズルとを含むものであり、

前記検査対象ノズル設定手段は、前記直近に使用したノズル列の一部のノズルとして、前記フォトブラックノズル列及びマットブラックノズル列のうちの直近に使用したいずれかのノズル列の一部のノズルを前記検査対象ノズルとして設定する手段である、印刷装置。

**【請求項 7】**

複数のノズルからターゲットに流体を吐出可能な吐出手段、を備えた印刷装置のコンピュータソフトウェアによる制御方法であって、

(a) 自機の設定に関する情報である設定情報の前記ターゲットへの印刷に使用されるノズルを含む、前記複数のノズルのうちの一部のノズルをノズルから前記流体が吐出されたか否かを検査するノズル検査の対象である検査対象ノズルとして設定するステップと、

(b) 前記設定情報を前記ターゲットへ印刷する前に、前記設定された検査対象ノズルのノズル検査を行うステップと、

を含む制御方法。